

有 終 の 美

令和4年3月11日(金)



○旅立ちの日に

本日、太田市立宝泉中学校第75回卒業式が行われました。今日をもって116名がそれぞれの道へ旅立つこととなります。

中学校生活は、一生に一度しかありません。そんな生徒一人一人の貴重な人生の3年間に寄り添えることの喜びと責任をいつも胸に感じながら、学年職員一同、過ごしてまいりました。なかなかうまくいかないこともありました。それ以上に、毎日刻々と成長する生徒の皆さんを見ていることがうれしく感じられました。

あっという間の3年間でした。「中学生の成長ってすごいものがあるなあ」「随分と大人びてきたなあ」と行事のたびに感じていました。昨日の卒業式予行練習後に「思い出のアルバム・ビデオレター」のスライド映像を観ました。1・2年生の時のあどけなかつた頃の写真を見ている3年生の表情は、温かく充実感に満ちていました。また、ビデオレターに登場した元担任の矢野先生も生徒たちとの思い出を語ってくれましたが、私たち3年職員も卒業式の練習が進むにつれ、「楽しかったですね」「お別れは寂しいですね」と語り合うことが多くなりました。私たちをこういう気持ちにさせてくれたのは紛れもなくこの学年の生徒一人ひとりです。教師冥利に尽きる3年間だったと思っています。そんな生徒たちと出会い、共に過ごせたことを本当に幸せに思います。

11年前の今日3月11日も中学校は卒業式でした。東日本大震災の日です。その日を境に多くの人々が不安を抱えて過ごす日が続き、今もまだ完全には立ち直っていません。その震災直後にある学校の卒業式で述べられた当時話題になった言葉が今でも私は心に残っています。

『いかなる困難に会おうとも、自己を直視すること以外に道はない。いかに悲しみの涙の淵に沈もうとも、それを直視することの他に我々にすべはない。』

海を見つめ。大海に出よ。嵐にたけり狂っていても海に出よ。真っ正直に生きよ。貧しさを恐れるな。

船出の時が来たのだ。思い出に沈殿するな。未来に向かえ。』

コロナ禍が収束していない今日にも通用する言葉だと私は思います。生徒のみなさんには、これから始まる新たな人生をたくましく生きていってほしいし、幸せなものにしてほしい。それが私たちの切なる願いです。

最後になりますが、保護者の方々におかれましては、この中学校3年間、思春期のお子さんの対応、部活動、受験など、何かとご苦労が多かったのではないのでしょうか。その中で本校の活動に、ご理解、ご協力いただき、祝意とともに深く感謝申し上げます。

「保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。三年間本当にありがとうございました。」

○皆勤賞、おめでとう! ~保護者の方々のサポートの賜です~

先日の卒業式予行練習の後に、皆勤賞の表彰がありました。本年度は19名の皆さんが表彰を受けました。これは、3年間、一度も欠席・遅刻・早退をしなかった生徒に贈られる賞です。学校ではたくさんの表彰がありますが、この賞は大変価値のあるものではないでしょうか。お子さんのがんばりはもちろんですが、その健康管理を陰で支えてくださった保護者の皆様の努力でもあります。下記の皆さん、おめでとうございます。

青木 陽央さん	今井 美羽さん	寺井 優月さん	布塚 颯さん	政野 夏凜さん
武藤 結奈さん	茂呂 壮真さん	安西 恵佑さん	関塚 麗さん	中野 智貴さん
長谷川 湊太さん	金井 希彩さん	長谷川 蒼太さん	茂木 晴香さん	野上 空翔さん
野村 花恋さん	深澤 忠将さん	本澤 亮典さん	渡邊 春菜さん	

～学年の先生方から生徒のみなさんへ～

1組担任 石井 僚

卒業おめでとうございます。この3年間、共に過ごすことができたこと、幸せに感じています。この1年で最上級生としてたくましく、頼もしい存在になりましたね。これからはそれぞれ別の道を歩んでいくことになると思いますが、「自分らしさ」と「素直な心」を大切に歩み続けてほしいと思います。皆さんとの出会いに感謝、感謝です。本当に楽しい3年間をありがとうございました。夢に向かって歩んでゆく皆さんをこれからも応援しています。

2組担任 小野田一子

卒業おめでとうございます。中学3年生という節目の時期にこの学年を担当させていただき、大変幸せでした。もうすでに宝中の要として活躍していたみなさんは、キラキラ輝いていました。給食をよく食べ、時間を守り、休み時間でもよく勉強を教え合っていた姿が今も心に残っています。部活動にも真剣に取り組んでいましたね。何気ないみなさんとの毎日で笑ったり心配したりすることさえ何よりのやりがいでした。本当にありがとうございました。これからもずっと応援しています。

3組担任 曾根 和樹

卒業おめでとうございます。中学校生活、楽しかったでしょうか。勉強に部活にと様々なことに一生懸命だったみんなは、きっと楽しかったと感じていることでしょう。先生も、中学生という大切な時期に、みんなと関われたことを本当に嬉しく思いますし、宝泉中に来てとても楽しかったです。いろいろな「強さ」をもって、これからの先の人生も、是非本当の意味で楽しんでいってください。これからも陰ながら応援しています。

4組担任 河村 好紀

まもなく新しい生活が始まる皆さん、ご卒業おめでとうございます。この中学校生活はどんなものでしたか。たのしかったことも、大変だったことも、多くの思い出がある中学校生活だったのではないのでしょうか。いずれこの社会を担う君たち。この中学での経験を生かし、多くのことに挑戦し、自己を高めてください。つらいことや悲しいことがあったときは、中学での仲間を思い出し、乗り越えていってください。かならずや君たちの心の支えになると思います。みなさんの活躍に期待しています。

副担任 荒井 剛

卒業おめでとうございます。ながいながい義務教育期間も、今日をもって終わりにになりました。この中学校3年間、生徒たちは、よく学校のきまりを守り生活してきました。コロナ禍においても、各行事や部活動においても、自分たちの力を出し切り、精一杯取り組んできました。これらの1つ1つが後輩への大切な贈り物になっていると感じます。今日をもって卒業となりますが、次のステップでのさらなる活躍に期待しています。

副担任 青島いずみ

卒業おめでとうございます。新しい生活を迎えようとしている今、皆さんは不安を感じつつも期待に胸を膨らませているのではないのでしょうか。4月からは新たな場所、新たな友達、新たな先生たちと心機一転歩んでいってください。またいつかどこかで出会い、皆さんの成長した姿を見られることを楽しみにしています。

学年主任 木暮辰弥

卒業おめでとうございます。「夢は逃げない。逃げるのは、いつも自分自身だ」とある画家さんが言っていました。夢を叶えられるか、叶えられないかの差はそこですかね。夢に向かって歩き出すのも自分なら、歩みを止めるのも自分。どうしても叶えたい何かがあるなら前進あるのみ。夢は心に描いたそのときから、逃げも隠れもせず、ただ叶えてくれることを待っていますよ。ときには寄り道してもいいだろうし、途中休憩してもいい。一步一步、歩き続けられればそれでいいです。本当、これからの人生は、あなたの頑張り次第です。